

・永田クラブ
・文部科学記者会
平成 27 年 4 月 15 日同時配布

平成 27 年 4 月 15 日
国土交通省道路局

第 1 回 アスリート・観客にやさしい道の検討会 の開催について

2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、アスリート、観客への暑熱対策（路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術など）及び観客への快適な環境の提供に資する対策について、陸上関係者を含む有識者から広くご意見を頂き検討を行う「アスリート・観客にやさしい道の検討会」を下記のとおり開催いたします。

記

1. 主な検討課題（予定）

- （１）アスリート、観客への暑熱対策（路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術など）
- （２）観客への快適な環境の提供に資する対策 等

2. 委員

別紙の通り

3. 第 1 回検討会の開催予定

開催日時：平成 27 年 4 月 17 日（金） 8：30～9：30

開催場所：中央合同庁舎 3 号館 11 階 国土交通省特別会議室

そ の 他：本検討会は非公開で行いますが、冒頭から委員紹介までのカメラ撮りは可能です。

議事録については、後日、道路局ホームページに掲載いたします。

お問い合わせ先

国土交通省 道路局 環境安全課

道路環境調査室 企画専門官 松居

課長補佐 藤井

Tel：03-5253-8111（内線 38212、38232）

直通：03-5253-8497 Fax：03-5253-1622

アスリート・観客にやさしい道の検討会

委員名簿

(委員)

尾縣 貢 公益財団法人日本陸上競技連盟専務理事

瀬古 利彦 DeNA ランニングクラブ総監督

花岡 伸和 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟副理事長

平田 竹男 内閣官房 2020 年オリンピック・パラリンピック
東京大会推進室長

廣瀬 隆正 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会施設整備調整局長

◎ 屋井 鉄雄 東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授

結城 和香子 読売新聞編集委員

横溝 良一 東京都技監（建設局長兼務）

(敬称略)

(五十音順)

◎は座長

第1回 アスリート・観客にやさしい道の検討会

平成27年4月17日(金) 8:30～9:30

中央合同庁舎3号館 11階 特別会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 設立趣旨

(2) 議題

- ・ 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会について
(大会の概要及び政府全体の取り組み)
- ・ アスリート・観客にやさしい道について

(3) その他

3. 閉 会

(配布資料)

資料1 設立趣旨

資料2 委員名簿

資料3 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
について

資料4 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会
に向けた取組状況について

資料5 「アスリート・観客にやさしい道の検討会」での
検討内容(案)

資料6 アスリート・観客にやさしい道について

資料7 「アスリート・観客にやさしい道の検討会」の進め方
について

アスリート・観客にやさしい道の検討会 設立趣旨

2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会では、世界中から訪れるアスリートや観客への快適な環境の提供を通じたおもてなしの向上に向け、それらに資する取り組みの推進が求められている。

本大会は、1 年で最も気温の高くなる夏季に開催されること、また、マラソンや競歩、自転車競技など、道路を利用した競技の開催が予定されていることから、道路分野においても、アスリートや観客への暑熱対策が課題となっている。

本大会の円滑な実施に向け開催されている「2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する閣僚会議」においても、路面温度上昇抑制機能を有する舗装等の整備の検討を行うこととなっている。

そこで、暑熱対策をはじめとする事業を推進し、東京大会の成功とともに、その取組成果が財産となり広く活用されることを目的として、有識者により、本検討会を設置するものである。

アスリート・観客にやさしい道の検討会

委員名簿

(委員)

尾縣 貢	公益財団法人日本陸上競技連盟専務理事
瀬古 利彦	DeNA ランニングクラブ総監督
花岡 伸和	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟副理事長
平田 竹男	内閣官房 2020 年オリンピック・パラリンピック 東京大会推進室長
廣瀬 隆正	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会施設整備調整局長
◎屋井 鉄雄	東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授
結城 和香子	読売新聞編集委員
横溝 良一	東京都技監（建設局長兼務）

(敬称略)
(五十音順)

◎は座長

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について



2015年4月

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

I. 東京2020オリンピック・パラリンピックの概要

TOKYO●2020

※ 立候補ファイル段階のもの

1. 大会開催概要

- «オリンピック» 開催期間：2020年7月24日（金）～ 8月9日（日）（24日は開会式）
競技数：28競技 306種目
参加実績：204国と地域、10,500選手（2012年ロンドン大会の例）
- «パラリンピック» 開催期間：2020年8月25日（火）～ 9月6日（日）
競技数：22競技 527種目
参加実績：164国と地域、4,200選手（2012年ロンドン大会の例）



I. 東京2020オリンピック・パラリンピックの概要

TOKYO●2020

2. 公道を使用する競技と競技日程

※ [立候補ファイル段階のもの](#)

<オリンピック>

陸上競技（マラソン）	男子、女子：42.195km	男子：8月 9日（日） 7:30～11:00 女子：8月 2日（日） 7:30～11:30
陸上競技（競歩）	男子：20km 男子：50km 女子：20km	男子：8月 1日（土） 9:00～13:15 男子：8月 7日（金） 7:30～15:00 女子：8月 6日（木） 9:00～13:30
自転車（ロード）	男子：276km 女子：139km	男子：7月25日（土） 11:00～17:15 女子：7月26日（日） 13:00～17:15
自転車（タイムトライアル）	男子：45km 女子：30km	男子：7月29日（水） 13:15～15:30 女子：7月29日（水） 11:30～13:00
トライアスロン（バイク／ラン）	男子、女子：40km／10km	男子：8月 4日（火） 10:00～12:30 女子：8月 3日（月） 10:00～12:40

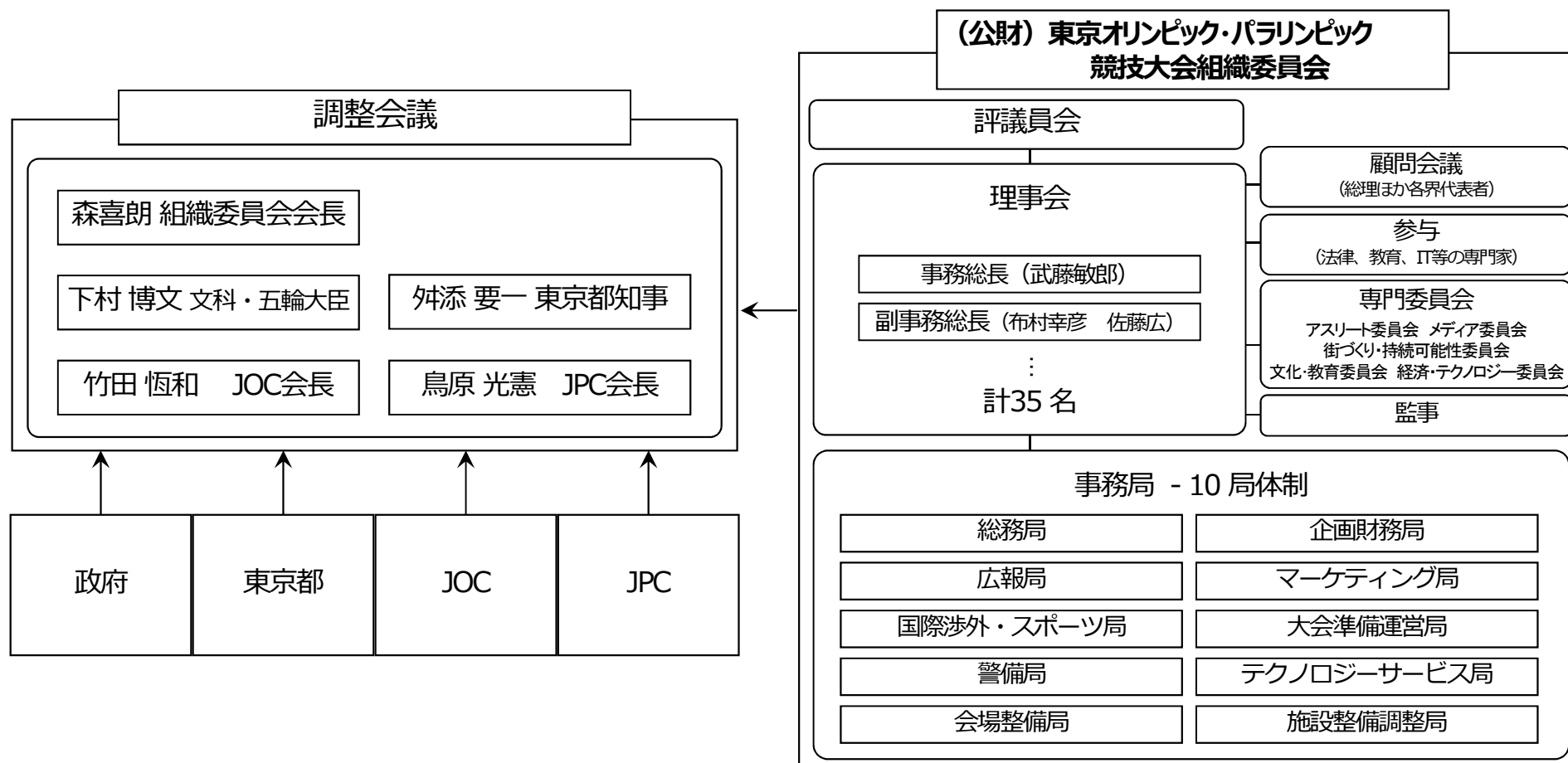
<パラリンピック>

陸上競技（車椅子マラソン／盲人マラソン）	男子、女子：42.195km	9月6日（日）
自転車（ロード）	男子、女子、男女混合：障害の程度による	9月2日（水）～5日（土）
自転車（タイムトライアル）	男子、女子、男女混合：障害の程度による	9月2日（水）～5日（土）
自転車（チームリレー）	男女混合：障害の程度による	9月2日（水）～5日（土）
トライアスロン（バイク／ラン）	男子、女子：20km／5km	8月29日（土）～30日（日）

Ⅱ. 大会組織委員会

TOKYO ● 2020

1. 準備推進体制



II. 大会組織委員会

TOKYO●2020

2. ファンクショナルエリア

IOC・IPCが提示する6つの分類の下に、大会運営に必要な52のファンクショナルエリアを設置

大会プロダクトと 経験	クライアント サービス	会場 とインフラ	大会サービス	ガバナンス	コマーシャルと エンゲージメント
•競技 •セレモニー •都市活動・ライブサイト •文化 •教育 •聖火リレー	•放送サービス •IF（競技に含まれる） •マーケティング パートナーサービス •NOC・NPCサービス •オリンピック・パラリン ピックファミリーサービ ス（要人へのプログラ ム・プロトコール含む） •人材管理 •プレスオペレーション •観客の経験	•エネルギー •会場マネジメント •会場・インフラ （会場設営・一般的なイ ンフラ含む） •選手村マネジメント	•宿泊 •アクレディテーション •出入国 •清掃・廃棄物 •ドーピングコントロール •イベントサービス •飲食 •言語サービス •ロジスティックス •メディカルサービス •セキュリティ •標識・サイン •テクノロジー •輸送	•都市運営調整 •コミュニケーション・ コーディネーション・ コマンド・コントロール •財政 •国・自治体調整 •情報・知識マネジメント •レガシー •法務 •運営実践準備管理 •パラリンピック インテグレーション •計画・調整 •調達 （レート・カード含む） •リスクマネジメント •持続可能性 •テストイベント マネジメント	•大会のブランド・アイデ ンティティ・ルック •ブランド保護 •ビジネス開発 •コミュニケーション （デジタルメディア ・出版物含む） •ライセンス •チケット

Ⅱ．大会組織委員会

TOKYO●2020

3．財政

(単位：億円)

収 入		3,013
	IOC負担金	695
	TOPスポンサー	295
	国内スポンサー	820
	チケット売上	683
	ライセンス商品・切手	123
	寄付金	100
	その他	297

(単位：億円)

支 出		3,013
	競技会場	679
	選手村	164
	IBC/MPC・その他会場	102
	人件費	221
	システム・電気通信	371
	式典及び文化	87
	医療サービス・セキュリティ	116
	ケータリング	58
	輸送	206
	テストイベント	34
	管理・広告宣伝	274
	パラリンピック	140
	その他	561

注) 金額は立候補ファイル段階のもの

うちTokyo 2020の仮設整備費負担額	723
-----------------------	-----

Ⅲ. 大会開催基本計画

TOKYO●2020

1. 大会開催基本計画の概要(1)

1章 大会ビジョン

- 大会ビジョン（オリンピック・パラリンピック共通）
スポーツには世界と未来を変える力がある。1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、
「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」**「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」**
「そして、未来につなげよう（未来への継承）」を3つの基本コンセプトとし、
史上最もイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。
- パラリンピックへの取組姿勢：同一都市として初めて2回目のパラリンピック大会の開催であり、パラリンピックムーブメントの発展に貢献し、活力のある共生社会を実現

2章 大会のクライアント

- クライアントを8つのカテゴリーに分類
①選手・NOC/NPC ②IF ③マーケティングパートナー ④オリンピック・パラリンピックファミリー/要人
⑤OBS/ライツホルダー（放送権者）⑥プレス ⑦観客 ⑧スタッフ
- それぞれのニーズ・要望を十分に把握し、日本人のおもてなしの心を大切にして、各クライアントに焦点をあてた計画と運営を確実に実施

3章 会場・インフラ

- 東京2020大会として最高の舞台を用意するため、アスリートのベストパフォーマンス、アクセシビリティ等に配慮し、将来の有効活用を見据えて整備
- 競技会場の具体的な配置等については、現在、アジェンダ2020等を踏まえ、レガシー、都民・国民生活への影響、コスト増への対応等の観点からレビューを実施中

Ⅲ. 大会開催基本計画

TOKYO●2020

1. 大会開催基本計画の概要(2)

4章 大会を支える機能（ファンクショナルエリア）

- 競技、放送サービス、エネルギー、セキュリティ、ドーピングコントロールといった大会運営に必要な52のファンクショナルエリア（FA）について、それぞれの機能を明確化
- 大会ビジョン等を踏まえながら、安全・安心で確実な大会運営と、アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できる環境づくりを目指すと共に、日本や東京ならではのサービス提供の観点も重視し、各FAのミッション、主要目標、業務・役割を記載

5章 推進体制

- 大会開催までのロードマップ（基礎、計画立案、実践準備、大会運営、解散・レガシーの各フェーズ）に基づき準備を推進。
- 東京2020組織委員会の組織構造、関係者との連携・役割分担、推進体制を早期に明確化し、組織内外の一体的な取組を推進。
- 限られた予算と限りないアイディアで、最高の大会を実現。

6章 アクション&レガシー

- 2020年に東京で行われるスポーツ大会としてだけでなく、2020年以降も日本や世界に様々な分野のレガシーを残す大会とする。
- 「スポーツ・健康」「街づくり・持続可能性」「文化・教育」「経済・テクノロジー」「復興・オルグジャパン・世界への発信」の5本の柱ごとに、組織委員会、政府、東京都、JOC/JPC、経済団体等が一丸となり、計画当初から包括的なアクションを推進。
- 2016年～2020年の具体的なアクションや2020年以降のレガシーを「アクション&レガシープラン」として2016年に取りまとめ、リオ大会以降、アクションを本格化。

7章 エンゲージメント

- 国内外の人々に対し、多種多様な参加型プログラムを通じて、大会に共感し大会を共に作り上げていく応援者の最大化を図る。
（東京2020独自のエンゲージメント戦略）

Ⅲ. 大会開催基本計画

TOKYO ● 2020

2. パラリンピック競技大会

■ パラリンピックの大会準備・運営とそのレガシー ■

- ・ 初めて同一都市として2回目のパラリンピック競技大会を開催
- ・ アクセシビリティを重視した競技施設や選手村の整備
- ・ 障がい者スポーツの振興
- ・ パラリンピックを契機とする人々の意識改革、共生社会の実現

■ 組織運営におけるパラリンピックの重視 ■

- ・ 組織委員会にパラリンピック担当部長、パラリンピック計画課長、関係職員を配置
- ・ JPCやパラリンピアンなどパラリンピック関係者が調整会議、理事会、アスリート委員会等に参画

IV. 競技施設

TOKYO ● 2020

1. IOC理事会において報告し、了承を得た競技会場

競技		会場		競技		会場	
アーチェリー		夢の島公園		ハンドボール		国立代々木競技場	
陸上競技		オリンピックスタジアム		ホッケー		大井ホッケー競技場	
バスケットボール		夢の島ユース・プラザ・アリーナB → さいたまスーパーアリーナ		柔道		日本武道館	
ボクシング		国技館		近代五種	(フェンシング)	武蔵野の森総合スポーツ施設	
ボート		海の森水上競技場（※）			(水泳・馬術・ランニング・射撃)	東京スタジアム	
カヌー（スプリント）				射撃		陸上自衛隊朝霞訓練場	
カヌー（スラローム）		葛西臨海公園隣接地		卓球		東京体育館	
馬術（馬場・障害・総合）		夢の島競技場 → 馬事公苑		テニス		有明テニスの森	
馬術（クロスカントリー）		海の森クロスカントリーコース		バレーボール		有明アリーナ（インドア）	
体操		有明体操競技場				潮風公園（ビーチバレーボール）	
ゴルフ		霞ヶ関カンツリー倶楽部		ウェイトリフティング		東京国際フォーラム	

※ 2月のIOC理事会を踏まえ、各NF（国内競技団体）、IF（国際競技団体）と共に具体的な運営上の課題に取り組んでいく。

IV. 競技施設

TOKYO ● 2020

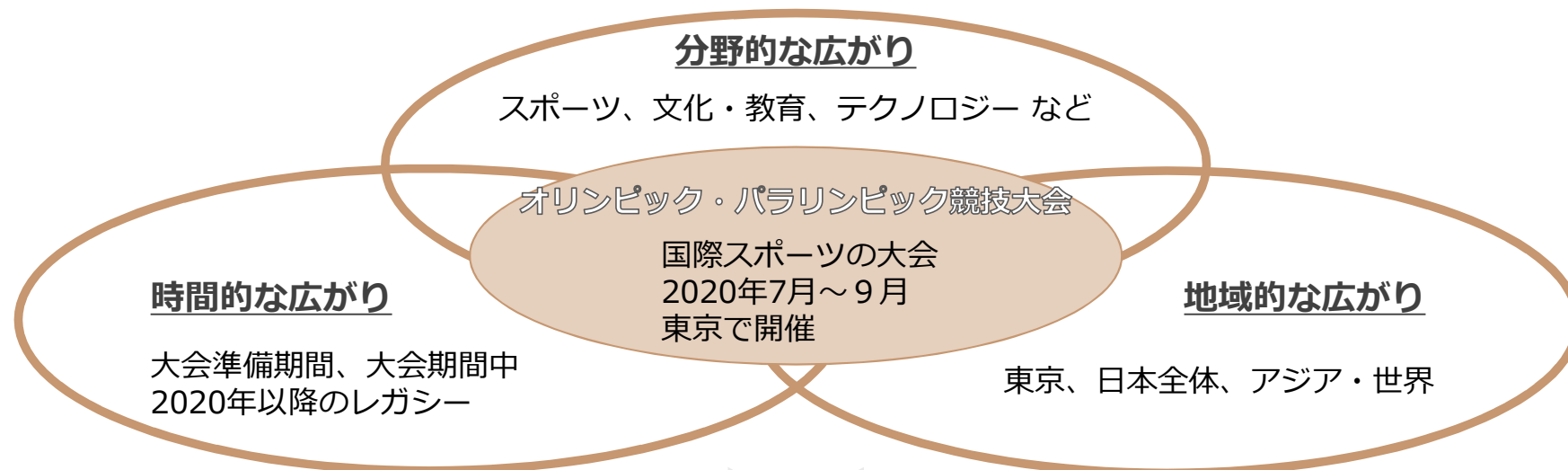
2. 引き続き調整を進める競技会場

	競技	会場（立候補ファイル）
水泳	競泳・飛込・シンクロ	オリンピックアクアティクスセンター
	水球	ウォーターポロアリーナ
	マラソン 10km	お台場海浜公園
バドミントン		ユース・プラザ・アリーナ A
自転車競技	トラック・レース	有明ベロドローム
	ロード・レース	皇居外苑（スタート）、武蔵野の森公園（ゴール）
	マウンテンバイク	海の森マウンテンバイクコース
	B M X	有明 B M X コース
フェンシング		東京ビッグサイト・ホール B
サッカー		オリンピックスタジアム、東京スタジアム、札幌ドーム、宮城スタジアム、埼玉スタジアム2002、横浜国際総合競技場
ラグビー		オリンピックスタジアム
セーリング		若洲オリンピックマリーナ
テコンドー		東京ビッグサイト・ホール B
トライアスロン		お台場海浜公園
レスリング		東京ビッグサイト・ホール A

V. レガシー

TOKYO ● 2020

広がりのある取組を進めるための5本の柱



それぞれの分野で「ベスト」を目指し、多様な分野を「調和」させ、次世代に「継承」する



VI. エンゲージメント

TOKYO ● 2020

1. エンゲージメントの意義

大会本番に“競技を見るだけ”ではなく聖火リレー、ボランティア、文化教育イベント等、大会前に様々なプログラムを実施することで“**より多くの人と共に大会を作って行こう**”という考え方。

2. 被災地との連携

被災3県、組織委員会、国、都、JOC、JPC等の代表からなる「連絡協議会」を設置し、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴う復興支援策を検討。

■ 復興支援策の例 ■

- 1) 聖火リレー
- 2) 被災地での事前キャンプ
- 3) 文化プログラム – 祭りなど、元気な東北の姿を世界に発信
- 4) 被災地での競技開催 – 宮城スタジアムでサッカー予選リーグを実施

VI. エンゲージメント

TOKYO ● 2020

3. 全国の自治体との連携

■ 全国自治体との連携の例 ■

- 1) 聖火リレー
- 2) 事前キャンプ
- 3) 文化プログラム
- 4) 地域の特産物等を生かした大会運営
- 5) オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進

4. 大学との連携

■ 大学との連携の例 ■

- 1) オリンピック教育の推進
- 2) グローバル人材育成
- 3) パラリンピックの理解促進
- 4) 広報活動
- 5) イベントの開催

VI. エンゲージメント

TOKYO●2020

5. 事前キャンプ

■ 事前キャンプ ■

- ・ 大会に参加するアスリートのコンディション調整やパフォーマンス維持等のため、各国のNOCやNPC、NFなどが任意に実施する大会期間前のトレーニング
- ・ 事前キャンプの実施に係る一切の決定権は、実施する各国のNOCやNPC、NFなどが有している

■ 候補地ガイド ■

- ・ 各国のNOCやNPCに対して国内の事前キャンプ候補地を紹介するため、組織委員会が作成。
- ・ リオ・デ・ジャネイロ大会の開催に合わせて公表し、すべてのNOC及びNPCに情報提供
- ・ 各国のNOCやNPC、NFとの交渉窓口は誘致する自治体が担う

■ 応募要項 ■

- (対 象) 国内の全自治体（都道府県及び市区町村）
- (期 間) 2015年4月1日～2018年9月30日
- (応募情報) 練習施設（会場）、宿泊施設、交通アクセスや医療に関するもの など
- (要 件) IFの技術要件を満たす練習施設（会場）及び宿泊施設を有すること

2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた取組状況について

平成27年4月
内閣オリパラ室

開催決定後の主な動き

平成25年 9月 7日 IOC総会で東京が開催都市に決定
9月13日 下村文部科学大臣が東京オリンピック・パラリンピック担当大臣に就任

10月 4日 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室
(内閣オリパラ室)の設置

<安倍総理のご発言>

「『まだ7年ある』ではなく、
『もう7年しかない』」



10月11日 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関係府省庁連絡会議
(事務次官級)(第1回) (以下「オリパラ関係府省庁連絡会議」という)

平成26年 1月24日 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会設立

1月31日 関係府省庁連絡会議 東京都との連絡協議会(第1回)

4月22日 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する閣僚会議(第1回)
(以下「オリパラ閣僚会議」という)

9月30日 オリパラ閣僚会議(第2回)

10月 3日 オリパラ関係府省庁連絡会議(第2回)

平成27年 1月27日 オリパラ閣僚会議(第3回)

1月30日 オリパラ関係府省庁連絡会議(第3回)

2月20日 オリンピック・パラリンピック特別措置法案閣議決定

2月27日 組織委員会より大会開催基本計画をIOC・IPCに提出

2020年に向けた政府の体制図

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する閣僚会議
議長：安倍内閣総理大臣

下村 オリンピック・パラリンピック担当大臣

円滑な準備に資するため行政各部の
所管する事務の調整を担当

内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室

内閣オリパラ室

室長 - 平田竹男 内閣官房参与
関係省庁等の職員で構成

内閣官房

人事院

内閣府

宮内庁

警察庁

金融庁

消費者庁

復興庁

総務省

法務省

外務省

財務省

文部科学省

厚生労働省

農林水産省

経済産業省

国土交通省

環境省

防衛省

支援 ↓ 連携

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

東京都

JOC、JPC、地方公共団体 等

JOC:日本オリンピック委員会、JPC:日本パラリンピック委員会

1. セキュリティ・安全安心

- ①テロ対策（内閣官房、警察庁、総務省、法務省、財務省、国土交通省、防衛省、厚生労働省等）
 - 検討体制の設置：内閣官房、警察庁等
 - 未然防止のための水際対策及び情報収集・分析機能の強化：法務省、財務省、警察庁等
 - 競技会場等におけるセキュリティの確保：警察庁等
 - 警戒監視、被害拡大防止対策等：防衛省
 - N B C（核・生物・化学物質）テロ対策：厚生労働省、総務省、警察庁
- ②サイバーセキュリティ対策（内閣官房、警察庁、総務省、経済産業省等）
 - サイバーセキュリティ推進体制の強化：内閣官房等
 - 検討体制の設置：内閣官房、警察庁等
- ③防災・ライフライン・安全安心（内閣府、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省等）
 - 首都直下地震対策の強化：内閣府等
 - 避難誘導対策の強化：内閣府等

2. 復興・地域活性化

①東日本大震災被災地との連携（内閣官房、復興庁等）

○検討体制の設置：内閣官房、復興庁等

②大会と連携した地域交流・地域活性化（内閣官房、総務省、文部科学省等）

○ホストシティ・タウン構想の推進：内閣官房、総務省、外務省、文部科学省等

○事前キャンプ誘致：内閣官房、文部科学省等

3. 輸送

①C I Q（税関・入管・検疫）（法務省、外務省、財務省、厚生労働省、農林水産省等）

○出入国審査の円滑化：法務省等

○体制の強化等：法務省、財務省、厚生労働省、農林水産省等

②観客・関係者の円滑な輸送（警察庁、国土交通省等）

○首都圏空港の機能強化：国土交通省

○空港アクセス等の改善：国土交通省

○道路輸送インフラの整備：国土交通省等

○大会開催時の輸送：警察庁、国土交通省

4. 外国人旅行者の受入

- ①外国人旅行者の受入（内閣官房、国土交通省、総務省、厚生労働省等）
 - 「2020年オリンピック・パラリンピック」を見据えた観光振興：内閣官房、観光庁等
 - 多言語対応の強化：内閣官房、観光庁等
 - 無料公衆無線LAN：総務省、観光庁等
 - 医療機関における外国人患者受入環境整備：厚生労働省
 - 外国人来訪者等への救急・防災対応：総務省
 - 国際都市にふさわしい景観創出等のための無電柱化の推進：国土交通省
 - 外国人を含む全ての大会来訪者がストレス無く楽しめる環境整備：経済産業省

5. バリアフリー

- ①競技施設・公共施設等のバリアフリー（内閣府、文部科学省、国土交通省、警察庁、総務省等）
- ②障害者への理解（内閣府、文部科学省、厚生労働省等）
 - 大会に向けたアクセシビリティの実現：内閣官房等
 - バリアフリー対策の強化：国土交通省等
 - 新国立競技場：文部科学省等
 - ICT化を活用した行動支援の普及・活用：国土交通省、総務省

6. スポーツ

①競技力の向上・国立競技場の整備等（文部科学省、防衛省、警察庁等）

②障害者スポーツ等の推進（文部科学省、厚生労働省等）

- 強化・研究拠点のあり方：文部科学省等
- 競技力の向上：文部科学省
- 自衛官アスリートの育成及び競技力向上：防衛省
- 射撃競技における競技技術の向上：警察庁等
- 新国立競技場の整備等：文部科学省等
- 国内アンチ・ドーピング活動体制の整備：文部科学省等
- Sport for Tomorrowプログラムの実施：文部科学省、外務省
- 国内のオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及：文部科学省
- 障害者スポーツの普及促進：文部科学省
- 地域スポーツの推進：文部科学省

7. 文化・環境等

①文化プログラムの推進・支援等（内閣官房、文部科学省、外務省等）

○文化プログラムの推進：内閣官房、文部科学省、外務省等

②大会と連携した和食・木材・花・畳・和装等日本の魅力の発信等（農林水産省、外務省、経済産業省等）

○和食・和の文化の発信強化：農林水産省等

③クールジャパンの大会と連携した推進（経済産業省、外務省等）

○効果的なPRの実施：経済産業省等

④大会と連携した環境対策等への支援（環境省、国土交通省、経済産業省等）

○環境配慮の推進：環境省等

○アスリート・観客にやさしい道づくり：国土交通省

○大会と連携した水素・燃料電池の活用：経済産業省、国土交通省等

○スマートコミュニティの展開：経済産業省

⑤大会と連携した I C T 環境の整備（総務省等）

○社会全体の I C T 化の推進：総務省等

⑥大会開催への最新の科学技術の活用（内閣府等）

○検討体制の設置等：内閣府等

8. その他

- ①記念貨幣の発行（財務省等）
 - 調査検討：財務省
- ②大会協賛宝くじ・記念切手の発行等（総務省等）
 - 発行検討等：総務省、文部科学省
- ③記念自動車ナンバープレートの発行（国土交通省等）
 - 発行検討：国土交通省
- ④知的財産の保護（経済産業省等）
 - 保護のあり方検討：経済産業省等
- ⑤受動喫煙の防止（厚生労働省等）
 - 海外調査：厚生労働省
- ⑥式典等大会運営への協力（防衛省等）
 - 協力の検討：防衛省
- ⑦東京大会に係る特別措置法の制定（内閣官房、文部科学省等）
 - 東京大会に係る特別措置法の制定：内閣官房、文部科学省等
- ⑧建設分野における外国人材の活用に係る緊急措置（国土交通省等）
 - 建設分野における外国人材の活用に係る緊急措置：国土交通省等

新国立競技場の整備等

【概要】

○2019年春の竣工を確実にするべく、実施設計においては、施工予定者が参画して詳細を検討。また、本年1月から現競技場の解体を開始。10月に新競技場の建設を開始する予定。

収容人数約8万人、陸上競技トラック9レーン、等（大規模国際スポーツ大会が開催可能なスペック）



開閉装置の設置（天候に影響されない大会運営や多目的な利活用による稼働率向上）



可動席の設置（サッカー、ラグビー実施時の選手と観客が一体となる臨場感あふれる観客席）



座席空調の設置
（夏季開催における熱中症対策等）



スタンドの免震構造

高木植栽、壁面緑化等の緑化計画
（周辺環境との調和）

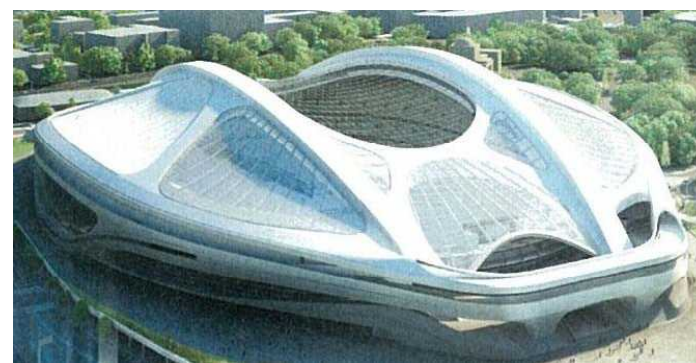


緑の回廊（歩道状空地並木植栽）イメージ



壁面緑化（クレーリングタワー壁面）イメージ

アーチ状主架構（キールアーチ）を用いたザハ・ハディド氏の基本デザイン



完成予想図（イメージ）－南西側からの鳥瞰図－
日建設計・梓設計・日本設計・アラップ設計共同体 作成

整備スケジュール予定
【 2019年春竣工 】

埋蔵文化財発掘等調査	2013 (H25) 年 5月～2016 (H28) 年 9月 (整理報告含む)
実施設計	2014 (H26) 年 8月～2015 (H27) 年 6月
解体工事	2015 (H27) 年 1月～2015 (H27) 年 9月 (準備等除く)
建設工事	2015 (H27) 年10月～2019 (H31) 年 3月 (準備等除く)

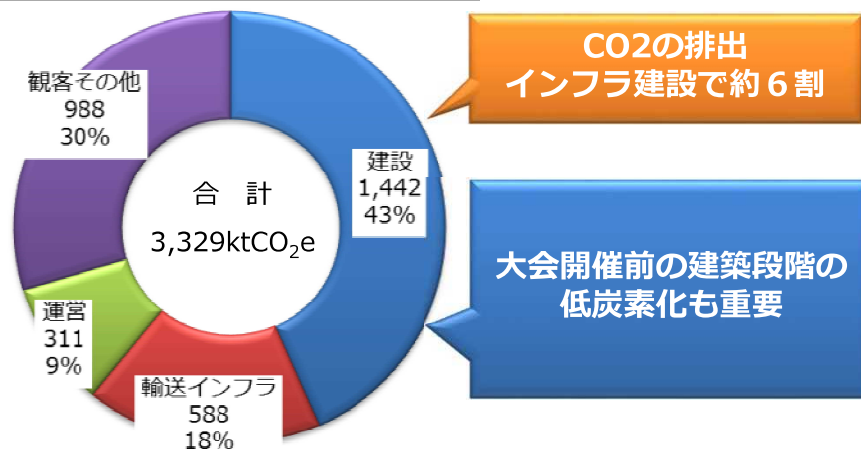
環境配慮の推進

○平成26年8月に取りまとめた「大会を契機とした環境配慮の推進に向けた課題と当面の取組」を踏まえ、環境技術の導入等に係る知見・情報を関係機関等に提供するとともに、東京都市圏における低炭素化やヒートアイランド対策などの効果の定量的な評価検証等に取り組む。

① 「環境にやさしい大会」の実現

- 環境技術の導入等に係る知見・情報を関係機関等に提供
(例) ロンドン大会における低炭素化の分析

ロンドン2012大会のカーボンフットプリント※



- ロンドン大会では、合計3.3MtCO₂eのうち、**約6割が会場の建設及び輸送インフラの建設による排出**
※準備段階から大会終了までの7年間の大会に関連するCO₂総排出量。原料の採掘から資材等の製造段階、建設段階までの負荷量。

環境技術の導入効果等に係る検討・分析を実施し、
関係機関等へ技術提供

② 「環境都市東京」の実現

- 環境省 平成27年度予算

2020年東京オリンピックに向けた統合的アプローチによる都市圏低炭素化評価検証等

【検討内容】

とりわけ環境負荷が大規模に集積している東京都市圏のインフラを低炭素化・環境負荷低減の観点から検討する。

東京オリンピックに向けた熱中症に関する普及啓発事業

【検討内容】

夏期の大規模イベント等における熱中症対策に関する現状や知見を収集し、対策指針等を作成する。

沿岸域環境改善技術評価事業

【検討内容】

東京湾の環境改善に向けて、小規模な環境改善技術の実証試験により効果等を評価し、実現可能性の観点も含めた効率的な改善方策を検討する。

東京オリンピックを契機とした一般廃棄物の統一分別ラベル導入検討事業

【検討内容】

オリンピックを契機とし、東京都市圏において統一分別ラベル導入の検討を進めることにより、3Rの促進を図り、環境にやさしいオリンピック、環境都市東京の実現を目指す。

東京オリンピック・パラリンピックにおけるグリーン購入促進検討事業

【検討内容】

東京オリンピック・パラリンピックの調達基準の策定に際して、グリーン購入に関する技術的検討及び支援を行う。

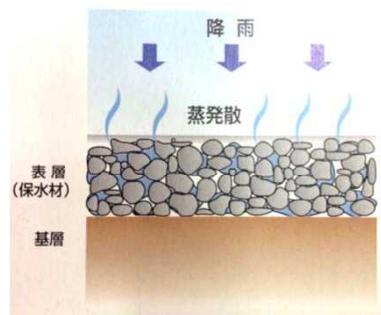
【概要】

○アスリート・観客の暑熱対策として、路面温度上昇抑制機能を有する舗装等について、マラソンコース等での整備に向け、東京都等と連携しつつ検討中。本年にアスリート・観客にやさしい道づくりについての検討会を設置し、具体的な検証を進める予定。

「路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術」

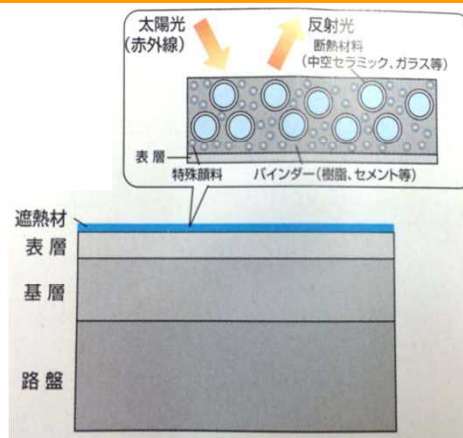
①保水性舗装

舗装の空隙に保水材を充填し、それに吸収された水が蒸発散する際の気化熱によって路面温度を低減する舗装



②遮熱性舗装

表面で光を反射させて路面温度の上昇を抑制する舗装



「施工例」

国道246号(千代田区永田町)

車道部(保水性舗装)

路面温度が約 **9~16℃低減**

体感温度※を約1~2℃低減
※地上1.5mの高さで計測した気温

(散水時の計測結果)



大会と連携した水素・燃料電池の活用

【概要】

- 水素・燃料電池戦略協議会において、水素社会実現に向けた関係者の取組を示したロードマップを平成26年6月にとりまとめ。水素社会の実現に向けた東京戦略会議（東京都）等と連携。
- 今後は、燃料電池自動車や定置用燃料電池等の普及に向けた施策を実施するとともに、水素ステーションの整備を円滑に進めるため、規制改革会議において必要な規制見直しの検討を進める予定。

ロードマップに示されたオリンピック・パラリンピック東京大会 における水素・燃料電池の活用イメージ



＜水素ステーション＞



＜燃料電池自動車(FCV)＞

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会で
水素の可能性を世界に発信



＜定置用燃料電池＞

[出典]メーカー等PR資料より引用

国と東京都の連携

水素燃料電池戦略協議会 経済産業省

- 座長 柏木孝夫 東京工業大学 特命教授
- 平成25年12月設置
平成26年6月
水素・燃料電池戦略ロードマップ策定

連携

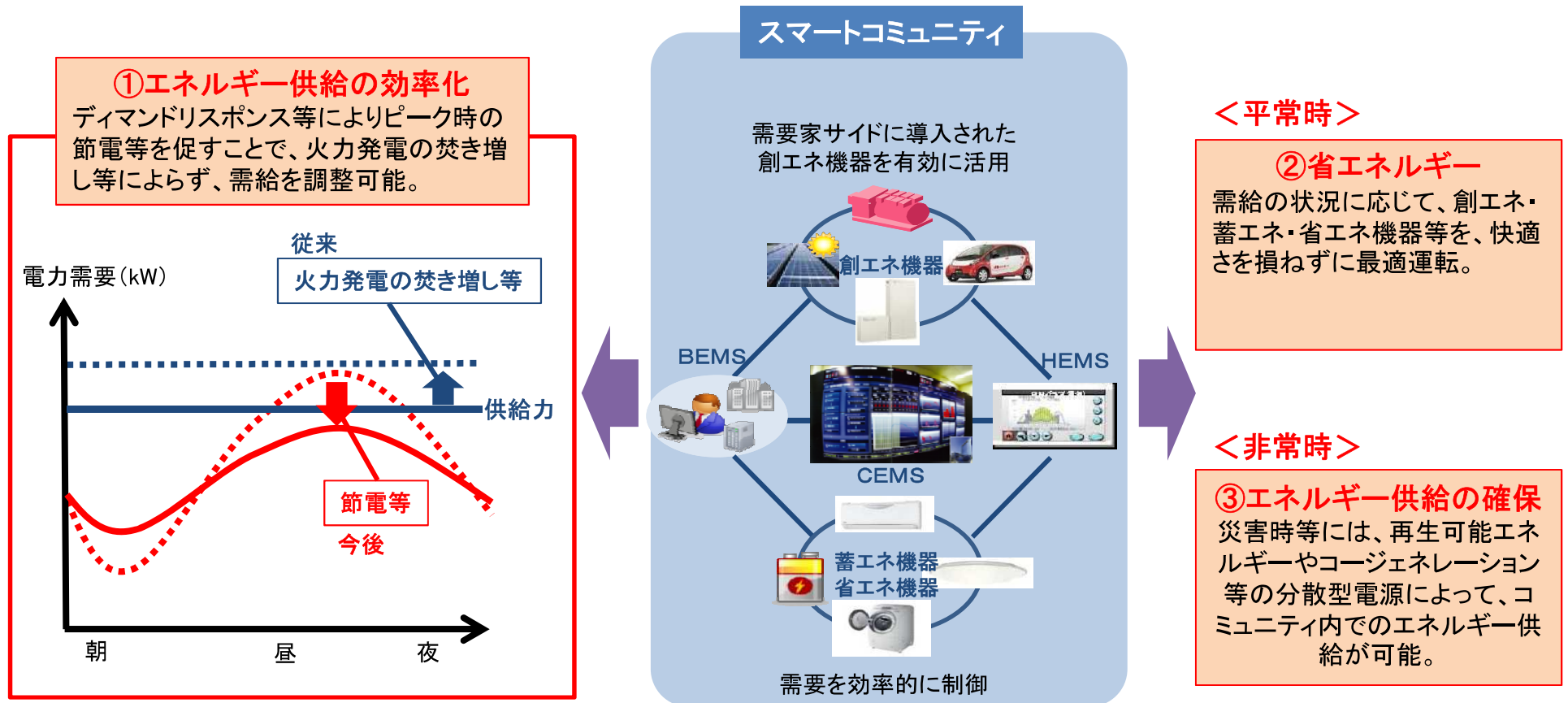
水素社会の実現に向けた 東京戦略会議 東京都

- 座長 橘川 武郎
一橋大学 大学院商学研究科 教授
- 平成26年5月設置
平成26年11月 中間まとめ策定

スマートコミュニティの展開

【概要】

○次世代エネルギー・社会システム協議会を平成26年4月及び5月に開催し、これまでのスマートコミュニティ実証事業の成果と今後の課題を整理。今後、エネルギー利用データを活用したネガワット取引を創出するため、本年3月にネガワット取引ガイドラインを策定。また、地産地消型のエネルギーシステムのモデル事業を行う予定。



「アスリート・観客にやさしい道の検討会」での 検討内容（案）

1. 検討の概要

- （１）アスリート、観客への暑熱対策、快適な環境の提供に資する対策の実施内容
- （２）上述の対策を国民に対してわかりやすく広報するための方策

2. 具体的な検討項目

- （１）アスリート、観客への暑熱対策
 - １）路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術
 - ２）道路の暑熱対策（打ち水）
- （２）観客への快適な環境の提供に資する対策
 - １）道路空間の有効活用
（オープンカフェ、コミュニティサイクルなど）
 - ２）道路緑化
 - ３）案内標識
 - ４）バリアフリー化
- （３）日本の技術の世界への発信 など

※日本の夏の暮らしの工夫（打ち水、浴衣、よしずなど）、競技開催時の道路管理者の役割（道路清掃（散水車、清掃車））、及び、他のオリンピック・パラリンピック開催都市における取組み事例を踏まえて検討する。

アスリート・観客にやさしい道について

国土交通省 道路局

平成27年4月

(1) アスリート、観客への暑熱対策

- 1) 路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術
- 2) 道路の暑熱対策（打ち水）

(2) 観客への快適な環境の提供に資する対策

- 1) 道路空間の有効活用
（オープンカフェ、コミュニティサイクル など）
- 2) 道路緑化
- 3) 案内標識
- 4) バリアフリー化

(1) アスリート、観客への暑熱対策

1)路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術

○路面温度上昇抑制機能を有する舗装には、主なものとして、保水性舗装と遮熱性舗装があり、路面・表面温度の低減効果は、ほぼ同程度

	概要	イメージ図	施工方法	効果(※)	
				路面温度低減効果	表面温度低減効果
保水性舗装	舗装の空隙に保水材を充填し、それに吸収された水が蒸発散する際の気化熱によって路面温度を低減する舗装		振動ローラによる保水材注入	【日最大】 約10～17℃ 【平均】 12.3℃	約9℃
遮熱性舗装	表面で赤外線を反射させて路面温度の上昇を抑制する舗装		遮熱材の吹き付け	【日最大】 約11～17℃ 【平均】 13.4℃	約7℃

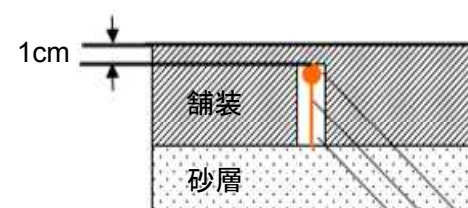
※関東地方整備局関東技術事務所フィールドでの調査結果(平成15年度～平成26年度)。保水性舗装は、自然降雨時もしくは散水時の計測結果。路面温度低減効果については、平成15年度～平成26年度の平均値。ただし、一部計測していない年度含む。表面温度低減効果については、平成15年9月11日の調査結果。

関東技術事務所フィールド試験場



路面温度測定方法

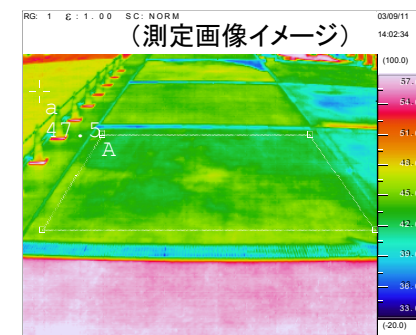
- 熱伝対センサーを舗装表面から1cmの深さに設置し測定



熱伝導センサー
熱伝導のケーブル
空隙をモルタルで充填

表面温度測定方法

- 赤外線放射カメラにより測定



2)道路の暑熱対策(打ち水)

暑熱対策の例 「銀座千人涼風計画」

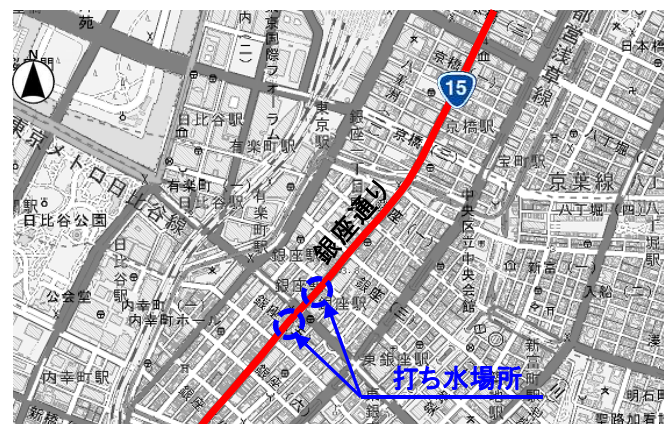
○「銀座千人涼風計画」は、昔から「涼」を取るための有効手段として行われてきた『打ち水』を平成16年度より国道15号（銀座通り）で実施

日 時：平成26年8月3日(日)

場 所：国道15号(銀座通り)

銀座4丁目、銀座5丁目

参加者数:約1,000人



参加者が横一列に並び一斉に打ち水を実施
(H26実施状況)

	打ち水前	打ち水後	路面温度差
第1回 (15:00)	55.5℃	41.9℃	-13.6℃
第2回 (15:20)	40.3℃	35.3℃	-5.0℃
第3回 (15:40)	35.8℃	34.3℃	-1.5℃

打ち水前後の路面温度差
(H26実施結果)

(参考)世界陸上2007大阪大会の暑熱対策

○大会開催期間中（2007年8月25日から9月2日）を中心に、メイン会場である長居陸上競技場内やその周辺で、ドライ型ミスト散布を行うとともに、マラソンコース、競歩コースにも選手用の暑さ対策として、大阪市水道局が水道管直圧によるミストステーションを設置



水道管の給水圧による直圧型ミスト散布の“ミストステーション”をマラソンコースの3か所、競歩コースの1か所に設置



競歩コースとなった長居公園周回道路において、観客を対象としたミスト散布を実施

（２） 観客への快適な環境の 提供に資する対策

1)道路空間の有効活用①

- 道路空間の有効活用に係る従前の占用制度の見直しや運用の柔軟化等を実施
- こうした取組みにより、地域の創意工夫による道路空間の有効活用が容易となり、まちづくり、にぎわい創出等を促進

オープンカフェ



国道36号（札幌市）

コミュニティサイクル



高崎駅西口周辺地区（高崎市）

1)道路空間の有効活用②

広告塔・看板

橋脚側面を活用した事例



首都高速道路（中央区日本橋）

（日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会提供）

道路照明を活用した事例



市道大阪駅北1号線・2号線（大阪市）

路面の新しい活用

路面に花びらで模様を描いた事例



長野市中央通り（長野市）

広幅員歩道に芝生を植栽した事例



市道駅前太平線（鳥取市）

2)道路緑化①

- 平成23年度より国、東京都、台東区が連携し、全国都市緑化フェア(平成24年9～10月開催)に合わせて国道4号をはじめとするJR上野駅周辺道路の景観、環境美化等について検討
- 平成24年度に駅前ロータリーやペDESTリアンデッキを緑化

- 路 線 : 国道4号
- 場 所 : JR上野駅前
- ペDESTリアンデッキ

利用者数: 約3万人/日



広小路口前のシンボルツリー(H27.4.16撮影)



プランターによる緑化(ペDESTリアンデッキ)(H27.4.16撮影)

2)道路緑化②

一般国道246号青山通り景観整備事業(平成15年度～)

○路線：国道246号

○場所：港区・青山一丁目～渋谷区・宮益坂上

整備前の課題

- ツギハギだらけの歩道舗装
- 不揃いで緑陰効果の少ない街路樹
- 歩道上の不法な駐輪・駐バイクや置き看板
- ゴミ捨て場となっている低木の植え込み



整備前

平成19年以前

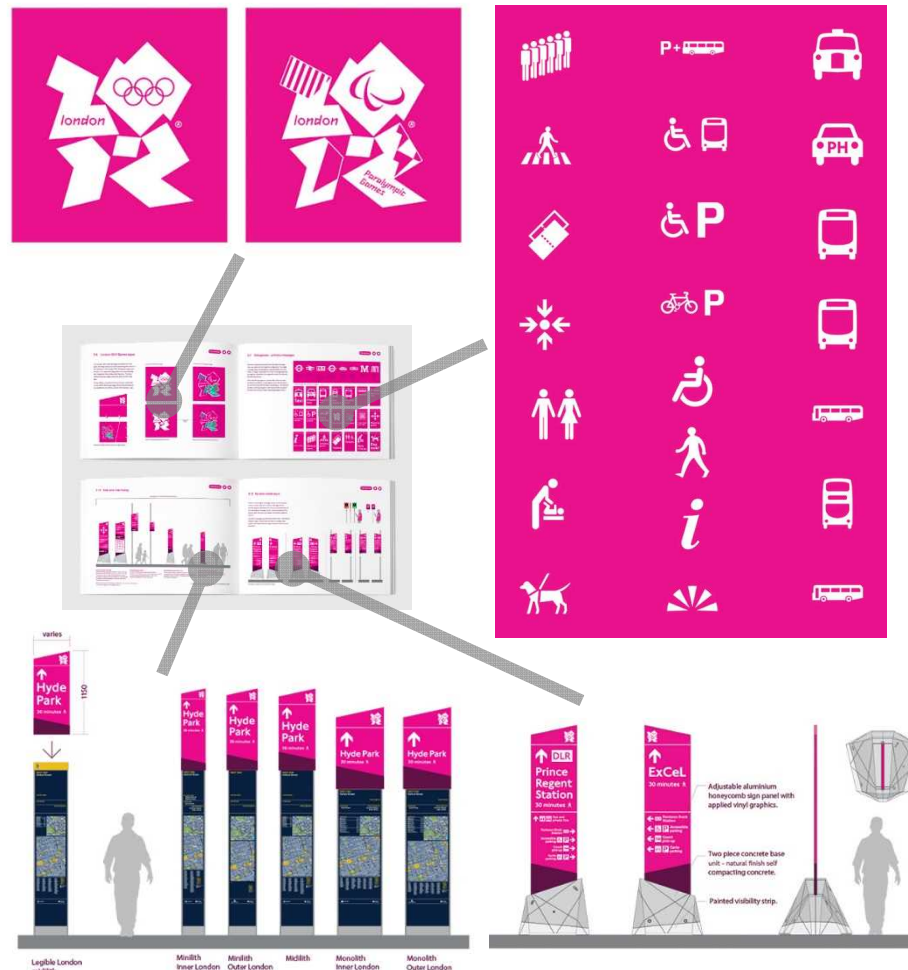


整備後

平成25年7月

3)案内標識(ロンドンオリンピック)

- オリンピック開発公社、ロンドン五輪組織委員会、ロンドン交通局がサインのガイドラインを作成
- 道路管理者であるロンドン交通局が道路上のサインを管理



案内サインの設置事例



出典: Delivering Transport for the London 2012 Games (Olympic Delivery Authority)
<http://www.minaletattersfield.com/en/post/1772/leading-the-way>
<http://www.jedco.co.uk/case-studies/transport-and-urban-realm/olympic-signage/>

(参考)案内標識(道路案内標識の英語表記改善の背景) 国土交通省

- 訪日外国人旅行者が10年で約2倍に増加し、平成26年には1,300万人に達した
- 訪日外国人旅行者の内、約8割が個人旅行者であり、分かりやすい**道路案内標識**のニーズが高い一方、**不満を感じる項目のワースト1位**となっている
- 平成25年8月より、国会議事堂周辺にある**道路案内標識**の分かりにくい「ローマ字」を「英語」へ試行的に改善

日本滞在中に感じた不便・不満

順位	分野	割合
1	標識等 (標識、案内看板、地図)	37.3%
2	観光案内所	28.9%
3	言葉	20.0%
4	クレジットカード	17.8%
5	交通	15.4%
6	街中環境	14.0%

※JNTOによるアンケート調査による(H21.10)

英語表記改善の事例

国会前(東京都千代田区)



Kokkai



The National Diet

鯉城通り(広島県広島市)



Rijo - dori



Rijo dori Ave.

(参考)案内標識(国会議事堂周辺での試行)



4)道路におけるバリアフリー化

- 自治体で作成するバリアフリーに関する基本構想（策定数402：平成25年度末）に基づき、道路管理者が道路特定事業計画を作成
 - 道路特定事業計画に位置付けられた個所等を国土交通大臣が特定道路として指定
 - 特定道路は移動等円滑化基準への適合義務があり、平成32年度までにバリアフリー化を達成
- ※特定道路（約1,700km）のうち、83%がバリアフリー化済み（平成25年度末）

重点整備地区における道路のバリアフリー化のイメージ



○平成27年4月17日（金） 検討会

- ① アスリート・観客対策に資する道路施策の紹介
（環境舗装、オープンカフェ、道路緑化などを紹介）
- ② 意見交換

○平成27年6月頃 検討会

- ① 頂いたご意見のとりまとめ
- ② 意見交換

○平成27年夏頃 環境舗装の効果検証

（都内での実施を予定）

（注）競技コースが未定のため、決定時期により要調整